授業改善プラン

特別支援教科（ 職 業 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは**太字**

	観 点	1 学期	2 学期		3 学期	小中一貫の 取組
		今年度の取組 昨年度の課題から	分析	具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて	
全 学 年	知識・技能	ICT の活用を積極的に行い、ToDo リストや仕事分担表を扱えるようにする。 様々な作業に取り組み、多くの実技的な技能を身に付ける。	ICT をスムーズに活用できる生徒が増えた。多くの校内主業務を請け負うことで、様々な技能を身に付けることができた。	新しいことに挑戦し、できることを増やしていく。		
	思考力・判断力 表現力	ソーシャルスキルトレーニングやロールプレイを通して、状況に応じた言動がとれるようにする。実際に通常学級の先生や梅組生徒との関りを増やしていく。	発達段階に応じたトレーニングを行うことで、楽しく学ぶことができた。	生徒一人一人の実態を正確に把握し、生徒にあったトレーニングを実施できるようにしていく。多くの人と関りをもっていく。		
	主体的に学習に取り組む態度	一人一人の役割を明確化し、ICT を用いて視覚支援の活用をする。 状況を見て、教員の支援を減らしていく。	視覚支援の活用はとても効果的だった。 教員の支援を減らすことで、生徒が主体的に活動するようになった。	引き続き、視覚支援の活用をしていく。 教員の支援なしで、できることを増やしていく。		

カリキュラムマネジメントの視点から
各教科の教材作成を行っていく。